

発明者情報

住所 470-0341
愛知県豊田市上原町西山652-7
氏名 イマエダ シゲヒロ
今枝 詩博 (滋洋)
TEL 0565-43-2004
FAX 0565-43-2004
E-mail vyg04051@nifty.ne.jp

TITLE

電気急須

アイデアの図面

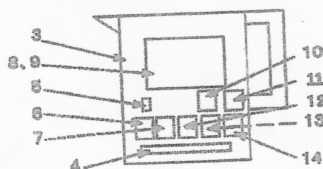


図1、電気急須の実施例1

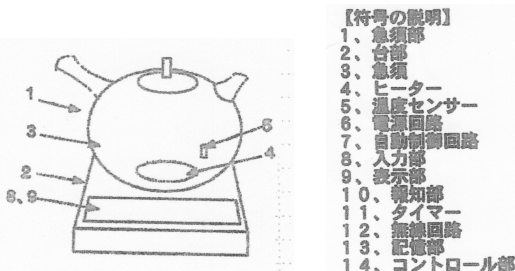


図2、電気急須の実施例2

お茶を簡単美味しく入れられる

- 1、急須内のお湯の温度をコントロール
- 2、お湯がお茶の抽出最適温度になったら知らせる
- 3、茶葉を入れ抽出時間が済んだら知らせる
- 4、3煎目まで最適抽出条件データをインターネットで入手
- 5、色々なお茶が飲める
- 6、飲んだお茶の評価をインターネットで送れる

調査・権利対策

試作品 なし
先願調査 同じものはありませんでした。
市場調査 いくつかの店、ネットではありませんでした。
価格 2万円
権利対策 実用新案登録 第3231742
商標登録出願済

アイデアの説明

アイデアのセールスポイント

1、電気急須の中でお湯を加熱して、正確にお湯の温度をコントロールできるので、一番良い抽出条件で、再現性良く、美味しくお茶を提供できる。今まで、お茶の抽出条件は、大雑把であった。(例、この玉露は50℃から60℃で、約3分間抽出する。)令和は、お茶を厳密に入れる。(例、この玉露は、55℃で、2分45秒抽出する。)

2、電気急須は、IoT機能を有しており、データセンターで管理されている、お茶の商品ごとの、最適抽出条件、2煎目、3煎目の抽出条件を、お茶商品添付のQRコード等を入力することにより、インターネットを介して、入手できる。また、お茶の評価もできる。

改良した部分、新しい構造はどこですか？

- 1、電気急須は、電気ケトルのように急須にお湯を注ぐ必要がなく、急須の中でお湯を加熱する。
- 2、電気急須にはIoT機能が付いている。

これを使うと、どの部分が便利になりますか？

- 1、急須の中のお湯の温度を正確にコントロールできる。
- 2、官能試験に電気急須を用いると、厳密に最適抽出条件を求められる。
- 3、各家庭で、簡単に、美味しくお茶が入れられる。
- 4、急須のお湯を冷ますための行為がいらなくなる。
- 5、電気急須は電気ケトルよりお湯の容量が小さいため、加熱が早い。
- 6、使う分だけお湯を加熱するので、省エネである。

企業にわかって欲しいポイント

お茶の入れ方の進化です。誰にでも簡単に美味しくお茶が入れられます。